



佐川の複雑な地層が 多様な植物を育む

牧野富太郎が夢中になって植物研究に没頭したルートを歩くと、多種多様な植物に出会えます。その多様性の背景には佐川特有の地質・地層の形成が考えられます。保水力が高い場所、湿地になる場所、固い岩脈など多様な地質が形成され、そこにそれぞれの地質を好む植物の群落が作られます。地層が複雑な故に多種多様な植物が育ち、その多様性が富太郎を魅了したのです。



◆チャート・砂岩

チャートは軟らかい層から出来た岩石で、海洋性植物を代表し、温泉、深層ルートの環境に多く牧野公園の物見岩もその一つ、砂岩は、陸性植物の代表格で温泉ルートの麓に多く見られる。海洋性植物の地層が層状に付加する地層とも呼ばれる。



◆断層

プレート運動や火山活動などの影響で地層がずれた部分。地層がずれて破壊された部分に地下水が通るので、気温が小さく湿度が高いため、シダや苔、ラン科の植物が多く生える環境にもなる。

◆石灰岩・凝灰質泥岩

石灰岩はサンゴや貝などの殻を持つ生物の遺骸が固まったもの。凝灰質泥岩は火山灰と泥が混ざり固まった岩石。石灰岩にはショウロウホトトギス、凝灰質泥岩にはヒメノボタンが生えやすい。

佐川周辺の地質

牧野博士はよく化石を採取していました。昭和27年、町への手紙で佐川の繁栄のため化石の博物館をと提言しています。博士は佐川の地質的特異性をも把握していたことが分ります。南北13kmの佐川町。その間にシルル紀から白亜紀までの約3億年の間に作られた地層が断層でチグシクチグシクになって折り重なる、日本でも稀な地域。佐川町は日本の地質学発祥の地。

※色の違いが地層の違いを表します。 資料：『高知地質図』より抜粋・追記



牧野富太郎スケッチ図

高知県立牧野植物園所蔵

牧野博士が佐川で見つけた花々



ハイカオウレン

佐川町 和紙 1892



サギソウ

『日本植物志図鑑』第1巻・第3巻・第18巻の遺稿 佐川・和紙 1897



ヒメノボタン

『日本植物志図鑑』第1巻・第3巻・第34巻の遺稿 佐川町 和紙 1899



オンツツジ

佐川町の山地 和紙 1892



シハイスミレ

土佐佐川町 和紙 1896



ヒガンバナ

『大日本植物志』第1巻・第3巻・第10巻の遺稿 佐川町 和紙 1899

佐川さとやま遊友会

お問い合わせ先/0889-20-9500 (さかわ観光協会)

聖地を歩く
周遊ルートが
出来ました！

佐川さとやま遊友会は豊かで多様な自然とその恵みを、活かして世代へとつなぐ事を目的に牧野博士の聖地の遺や歴史の遺の整備を実施。給谷のサギソウ再生や道の維持管理などの活動も行っています。

アクセスと所要時間

- 高知駅-佐川駅 JR土讃線 55分 (特急 25分)
- 佐川駅-牧野富太郎ふるさと館 徒歩約 10分
- 岡崎登り口-室原登り口 徒歩約 15分
- 室原登り口-サギノス登り口 徒歩約 10分
- サギノス登り口-深尾神社登り口 徒歩約 25分

後援/佐川町・さかわ観光協会
牧野富太郎博士顕彰事業補助金を使用しています

佐川 南山麓
周遊ルートマップ

牧野富太郎の 聖地を歩く

